

上関・祝島及び周防大島現地調査報告

日 時：平成20年11月22日（土） 6：00～19：00

場 所：上関町・同祝島、周防大島文化交流センター（宮本常一資料展示館）

議 題：地域力発掘モデル事業「權伝馬」関係現地調査

調査事項：權伝馬及び神舞いの起源及び関連歴史等について聞き取り調査

調査参加者：水井、長谷川、林、石倉、榎本

上関町文化財調査委員・西山弘志氏

古代において海路は主要交通機関で海流による本土側の航路が主流であり上関が栄えたこと等や村上水軍関係の説明を受けた後、海路祝島へ上関教育委員長橋部氏を紹介される。

祝島にて 上関教育委員長・橋部好明氏

神舞い神事は、886年8月豊後国伊美郷の方々が山城国石清水八幡宮の分霊を持ち帰る途中嵐に遭い祝島に漂着し、農業を指導したことに交流が始まり、祝島から毎年伊美別宮社にお参りし、4年に1度別宮から20余名の神職、里楽師を迎え祝島の斎場で神恩感謝の合同祭事行うようになったとの説明を受けた。船大工の現職の棟梁新庄さんと權伝馬を紹介された。わが町の權伝馬に比べかなり丈夫そうに建造されていた。

又、祝島独特の建築様式練り塀は見事なものであり、修復保存されていた。

周防大島文化交流センター・高崎裕太学芸員

周防大島郷土大学事務局長松本昭司氏に依頼、高崎さんを紹介され展示館の説明をしてもらった。民具が見事に収集されており、ことを始めるためにはタイミングが大切であることを強く意識させられた。参加者それぞれ宮本常一先生の本を買って求めた。

旅費	フェリー車（往復）	2150 x 2	= 4300円
	〃 人（往復）	690 x 4人	= 2760円
	高速料金（河内から玖珂）	3150 x 2	= 6300円
	祝島高速船人（往復・西山氏同乗）	900 x 2 x 6人	= 10800円
	展示館入館料	300 x 5人	= 1500円
	ガソリン代495km @140 x 46.68ℓ		= 6535円
	現地調査費合計		32195円